

平成23年度 事業計画書

横浜市師岡コミュニティハウス

項目	方針・目標
運営方針	港北区区民利用施設協会の運営方針に基づき、地域の人々の自主的な活動と相互交流の場として、誰もが気軽に利用できる地域のための施設となるよう、利用者の立場に立った支援活動を心がけ、活力とふれあいのある快適な地域社会づくりに貢献します。
運営目標	日々の個人利用及び団体利用の来館者に対し、区民利用施設の職員としての自覚のもとに、笑顔で、明るく、親切な対応に心がけ、一步踏み込んだ支援の手が差し伸べられるように努めます。また、利用の仕方をわかりやすく案内するための創意工夫を重ねます。
利用の促進	稼働率の上昇傾向のもとで、平成22年度から「3時間区分」を実施しており、利用団体には、相互の譲り合いの精神によって、なるべく多くの団体が利用できるよように呼び掛けています。
事業目標	7月16日に「開館4周年記念ふれあいコンサート」を、11月5・6日に「第4回文化祭」を開催します。館主催事業は、地域の人々のニーズをとらえ、バラエティーに富む講座を開設するとともに、参加者の意欲を、以後の自主活動サークルへの継続へつなげます。
情報提供	①地域の協力を得て、月例発行の「師岡コミュニティハウスだより」を、トレッサ横浜を取り巻く港北区師岡町・樽町の全域、鶴見区の駒岡・獅子ヶ谷の近接地域への回覧板配布を行っています。②「広報よこはま・こうほく区版」「楽・遊・学」「あぶりお(鶴見区民活動センター刊)」を通しての情報発信をしています。③インターネット・ホームページの更新を頻繁に行うように努力しています。④「トレッサ横浜(トヨタ・オートモール・クリエイト)」の協力により、トレッサ横浜内でのPR放送や、チラシへの紹介記事等が行われています。
危機管理	①大型複合商業施設「トレッサ横浜」の一角に位置する区民利用施設としての特殊性をふまえた「防災計画」と「危機管理マニュアル」をもとに、職員研修による共通理解のもとに対応します。②館内における乳幼児の事故防止にかかわる保護者への注意の喚起に配慮します。(「ヒヤリ・ハット集」の活用。「事故防止チェックリスト」による定期的なチェック。)③緊急事態の発生には、トレッサ横浜の「監視センター」及び「管理事務所」との連絡を密にして対応します。④トレッサ横浜が実施する防災・避難訓練に積極的に参加するとともに、トレッサ横浜の了解のもとに、館独自の避難訓練にも取り組みます。
維持管理目標	①当館の施設全体が、いつもきれいで、清潔を保つように、日々、きめ細かに巡視し、日常清掃に取り組みます。②当館の施設・備品等の維持・管理については、きめ細かに巡視点検を行い、故障や破損を発見した場合は、早期に修繕し、事故の未然防止に努めます。
公聴「意見要望」	①「師岡コミュニティハウス委員会」5月、2月の年2回開催。②「利用者会議」は、毎月1日の「団体利用予約一斉受付」の場を活用して、利用団体の要望、課題等を受け止めるようにし、課題を長期間引きずることのないようにします。③「文化祭参加団体調整会議」7月開催。「作品展示団体」「実技発表団体」との連絡調整を密に進めます。④「投書箱」の定期的開封と対応。利用者からのご意見やご要望を受け止め、施設の運営改善上の参考にさせていただきます。※生じた新たな課題等の対応については、上部機関とも相談し、当館としての考え方と対応を明確に、丁寧に説明し(館内への掲示や「師岡コミュニティハウスだより」への掲載等)、利用者のご理解を得る努力を重ねます。
個人情報保護	「横浜市個人情報保護条例」及び「港北区区民利用施設協会個人情報保護規程」に基づき、また、職員研修を通じての共通理解のもとに、①「団体登録リスト」「利用許可申請書」など、個人情報の注意深い取り扱いと保管を徹底するとともに、適正な管理を行います。②「個人情報保護チェックリスト」による定期的な点検を実施します。
その他	個人利用、団体利用を問わず、利用者から「親しみ」「愛着」「信頼」をもって受け止められるような日々の管理、運営となるよう、「笑顔」「親切」「丁寧」「わかりやすさ」を目指して、職員一同、共通理解、共通認識の下に、運営改善に努めます。

単独団体名・共同事業体名	港北区区民利用施設協会
施設名	師岡コミュニティハウス

平成23年度収支予算書

1 収入の部

項 目	合計金額 (単位:千円)	備 考
利用料金収入		
自主事業収入	381	参加費
雑入	300	印刷代
小 計	681	施設運営収入の計
指定管理料	12,826	
収入合計	13,507	

2 支出の部

項 目	合計金額 (単位:千円)	備 考
人件費	8,993	給与賃金、社会保険料、通勤手当、健康診断、勤労者福祉共済掛金
事務費	1,550	旅費、消耗品、会議費、通信、使用料及び賃賃料、備品、図書、施設賠償責任、諸費等
自主事業費	712	指定管理充当、参加費
管理費A(光熱水費等)	600	
管理費B(保守管理費等)	580	修繕、清掃、機械警備、設備保守等
公租公課	455	
事務経費	617	労務、経理、契約、職員研修など
予備費	0	
小 計	13,507	施設管理運営経費の計
支出合計	13,507	